

平成 28 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 28 年 6 月 4（土）に開催した石見銀山基金事業公開審査会により、平成 28 年度 7 月以降に実施する石見銀山基金事業について、候補事業（要望事業）の公開プレゼンテーションと審査を行った。

今回、審査の対象となったのは、一般事業の 2 団体から要望のあった 2 つの事業で、審査の結果、2 事業が基準点以上の評価を受け、石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 石見銀山基金事業選定委員会委員名簿
- ・ 一般事業リスト
- ・ 一般事業 選定結果
- ・ 選定基準

■石見銀山基金事業選定委員会委員名簿

(任期：平成28年 4月 1日～平成31年 3月31日)

氏名	職業・所属団体・役職	備考
渡邊 一正	NPO 市民文化財ネットワーク鳥取 理事長	委員長
久保田 典男	島根県立大学 准教授	副委員長
高須 佳奈	島根大学 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業部門長・講師	
梅 恒雄	大田商工会議所 前専務理事	
青木 裕志	大田市 副市長	
椿 真治	島根県教育庁文化財課 調整監	

※石見銀山基金事業公開審査会（平成28年6月4日開催）

（出席）渡邊委員、久保田委員、高須委員、梅委員、青木委員

■ 一般事業リスト

事業項目	申請団体名	事業名	事業概要・効果
一般事業 【2次】	オペラ「石見 銀山」実行 委員会	オペラ「石見 銀山」シナリオ 製作事業	<p>世界遺産登録後まもなく10年になる。この大きな節目に新作オペラ「石見銀山」を製作し、舞台総合芸術作品として、後世に残し、伝える事を目的とする。</p> <p>更に、世界遺産題材のオペラは、世界に類を見ないオペラであり、世界及び全国に音楽の芸術作品として「石見銀山」の歴史を発信することになる。</p> <p>オペラの題材は、銀山に伝わる史実を取り入れた物語「於紅谷」を神楽との共演にし、世界初「神楽とオペラ」のコラボレーションとして脚光を浴びることになる。</p> <p>また、銀山に伝わってきた「銀堀り歌」、「巻き上げ節」、「五百羅漢さん」、「さんや節」など4曲を楽曲に取り入れた、一般市民参加型のオペラとして、銀山の歴史を新たに一般市民及び子供たちも共に学び、表現し、歌うことにより、歴史的価値を再認識し、銀山の歴史に誇りを持って取り組みたいと思う。このオペラの初演は来年の登録10周年記念日「7月2日」とし、鑑賞して下さった皆様にも銀山の長い歴史の魅力と価値を再認識していただけることと思う。</p> <p>これから先も今回製作した作品は、様々な音楽活動の場面で活用され、ソリスト・合唱共に世代を超え、出演した人たちはもとより、たくさんの人たちに歌い継がれ、銀山の歴史的価値が、音楽の文化芸術、地域の伝統文化神楽を通して深く認識・注目され、石見銀山の歴史を発信していくこととなる。</p> <p>【事業費 3,480,000 円／補助金要望額 2,000,000 円】</p>
	石見伝統建 築文化研究 会	石見銀山周辺 における歴 史的建造物の 調査Ⅲ	<p>石見銀山の中心域の外側に存在する寺社・古民家など近世から近代にかけて創建され現在に至っている歴史的建造物の調査を行う。</p> <p>今年度は、昨年度に続き、旧大森代官所支配下の6組内に存在する寺社の特徴や数量調査などを主に実施し、特に重要と思われる建物については選定して詳細調査を行う。</p> <p>寺社の特徴・数量・分布調査を主として行い、調査資料を冊子としてまとめることで、地域的特色を把握し、今後の調査研究の基礎資料とすることができ、この事業(継続事業)においてまとめられた歴史的建造物の調査成果資料は、その歴史的価値や文化的価値を後世に伝えることができる。また、石見銀山周辺域における歴史的建造物の調査成果資料が、その文化財的価値を評価する基準となり、特定物件について、将来的に指定文化財又は登録文化財として受けることができれば、当地域の貴重な財産となり、更には建物の存続に貢献することができる。</p> <p>【事業費 300,000 円／補助金要望額 200,000 円】</p>

※事業費／補助金要望額は、公開審査会時のものです。

■ 一般事業 選定結果

事業項目	申請団体	事業名	評価点	採否 採 択 ○ 不採 択 ×	備考
			平均点 (100 点満点)		
一般事業 【2次】	オペラ「石見銀山」実行委員会	オペラ「石見銀山」シナリオ製作事業	77.0	○	条件付き ※別紙参照
	石見伝統建築文化研究会	石見銀山周辺域における歴史的 建造物の調査Ⅲ	77.6	○	

※ 平均点の6割（60点）以上の点数を獲得した団体の中から、獲得点数の高い順に選定（事業採択）

選定委員会からの条件

申請団体：オペラ「石見銀山」実行委員会
事業名：オペラ「石見銀山」シナリオ製作事業

1. 著作権について、申請団体、大田市、NPO 法人石見銀山協働会議等とで協議を行うこと。

■一般事業 選定基準

選定委員会は、次の評価項目について審査し、総得点の6割以上の点数を獲得した団体から順次、獲得点数の高い順に選定事業に選定します。

(1) 評価項目及び評価の着眼点

評価項目	評価の着眼点	最高点
①継承性	I 地域の新しい価値の発掘・創造や地域共通の課題の存在を認識し解決を図る取組か。 II 未来の世代に良好な地域環境や地域社会をもたらす取組か。 III 目的を共有する誰もが参加できる組織による取組か。	10
②必要性	I 社会情勢に応じてニーズが高い事業か。 II 取り組む必要性が明確な事業か。	10
③社会的公益性、地域貢献性	I 広く地域、社会に貢献する活動か。 II 広く公開された事業か。 III 応募団体の構成員や特定の個人、団体が対象となる利益事業か。 IV 実施事業が団体で完結するのではなく、地域や住民との連携を伴うものか。 V 事業内容が地域課題の解決や活力の創出等に貢献する内容か。	10
④発展可能性	I 今後、その成果の広がりを期待できる活動か。 II 次世代の育成につながる活動か。 III 今後、継続して取り組める体制、計画か。 IV 自主財源の確保が可能か。	10
⑤実現可能性、団体の事業遂行能力	I 実施体制、事業計画（規模・内容）、資金計画（財源や用途）、スケジュール等無理のない実現可能な活動か。 II 応募団体が企画及び事業遂行能力を持っているか。	10
⑥石見銀山らしさ	I 石見銀山の歴史、文化、自然、社会基盤等を活かす事業か。 II 石見銀山の新たな価値を見出し、地域への誇りを醸成する取組か。	10
⑦事業の新規性、実効性	I この地域に新たに価値を付加する事業内容か。 II 新たな視点、発想、工夫やアイデアの企画、提案で独創性や創造性を感じられるか。 III 事業が具体的かつ実効性を持つものか。 IV 実施により想定される効果が期待できるか。 V 費用に対しての効果が認められるか。	10
⑧団体の広報力	応募団体が事業実施の際し、十分な事業告知を行い基金活用の趣旨を伝えるか。	10
⑨プレゼンテーション	プレゼンテーションにおいて、的確かつ魅力的に事業を説明できたか。	10
⑩費用の妥当性	活動の内容に見合った経費見積もりとなっているか。	10

(2) 評価方法

(1) の評価項目毎に別に基準を設けて、11段階評価で行います。

(各選定委員の最高点：10項目×10点＝100点)